

- 問1 北緯40度以北の高緯度に位置するヨーロッパ州の西部が、同緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖な気候を保っている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- 赤道付近から北上する暖流の黒潮と、大陸から吹く冷たい季節風の影響を受けているため
 - 北極圏から南下する寒流の千島海流の影響により、一年を通じて気温の変化が抑えられているため
 - 大西洋を北上する暖流の北大西洋海流と、その上の温かい空気を陸地に運ぶ偏西風の影響を受けているため
 - 地中海沿岸から北上する寒流のリマン海流と、夏に吹く季節風の影響を強く受けているため
- 問2 ヨーロッパにおける言語の分布を調査した資料において、ドイツ、イギリス、そしてスウェーデンなどの北欧諸国を含む北西部から中部の地域に広く分布している言語グループを何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- ラテン系言語
 - ギリシャ系言語
 - スラブ系言語
 - ゲルマン系言語
- 問3 ヨーロッパの北西部に広がる、高緯度のわりに冬が温暖で夏は涼しく、年間を通じて降水量の差が少ない気候が形成される主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- 地中海の上を、偏西風が吹くことで夏に乾燥した空気が運ばれるため。
 - 北大西洋海流という暖流の上を、偏西風が吹くことで湿った暖かい空気が運ばれるため。
 - 黒潮(日本海流)という暖流の上を、季節風が吹くことで湿った暖かい空気が運ばれるため。
 - 北大西洋海流という寒流の上を、偏西風が吹くことで乾燥した冷たい空気が運ばれるため。
- 問4 1990年から2020年にかけての主要国のエネルギー供給の変遷について、イギリスでは2010年から2020年の10年間で、発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が4倍以上に急増しました。このようにイギリスで再生可能エネルギーの導入が急速に進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- 2020年までに石油による火力発電の割合を2010年比で倍増させるというエネルギー政策を打ち出したため
 - 国内に広大な砂漠気候の地域を有しているため、大規模な太陽光発電パネルの設置を優先したため
 - 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため
 - 二酸化炭素を排出しない原子力発電を、2020年時点で国内の全発電量の8割以上にする目標を達成したため
- 問5 北欧に位置するノルウェーは、北極圏に近い高緯度でありながら、冬でも港が凍らない「不凍港」を利用した漁業や海運が発展しています。このように、同緯度の他地域と比べて気温や水温が高く保たれる理由について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 北極海から南下してくる寒流が、海岸線の複雑な入り江に暖かい水を開き込める役割を果たしているため。
 - 低緯度側から北上してくる北大西洋海流という暖流と、その上空を吹く偏西風の影響を受けているため。
 - 暖流と寒流がぶつかり合う潮目の海域に位置しており、深海から温かい海水が湧き上がってくるため。
 - 広大な森林地帯が冷たい季節風を遮り、内陸の温められた空気が沿岸部へ流れ込み続けているため。
- 問6 フランスやスイスが属するヨーロッパ州の地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- ユーラシア大陸の西側に位置し、アルプス山脈などの険しい山脈や、複数の国を流れる国際河川が見られる。
 - ユーラシア大陸の東側に位置し、季節風(モンスーン)の影響を強く受け、稲作が盛んに行われている。
 - 北半球に位置する広大な大陸で、ロッキー山脈が南北に走り、広大な平原で大規模な畑作が行われている。
 - 赤道付近に位置する国が多く、広大な熱帯雨林やサバナが見られ、カカオなどの商品作物の栽培が盛んである。
- 問7 北大西洋海流と偏西風の影響を強く受けるヨーロッパ西岸から北西岸一帯で見られる気候について、その特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- 夏は高温多湿で降水量が多いが、冬は乾燥した冷たい季節風が吹き、四季の変化がはっきりした「温暖多湿気候」となる。
 - 夏は乾燥して日差しが強く、冬に雨が集中して降る、オリーブやブドウの栽培に適した「地中海性気候」となる。
 - 夏は涼しく、冬の寒さも緯度のわりに穏やかで、一年を通して降水量の差が少ない「西岸海洋性気候」となる。
 - 一年中気温が低く、夏の間だけわずかに地表の氷が溶けて苔類が生育する「ツンドラ気候」となる。
- 問8 フランスの農業的特色について、穀物の生産と貿易の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- 小麦などの穀物生産が非常に盛んであり、輸出量が輸入量を大きく上回るため、穀物自給率は100%を超えている。
 - 地中海沿岸での果樹栽培が中心であるため、主食となる穀物の生産量は少なく、輸入量が輸出量を大幅に上回っている。
 - 高度な集約的農業を行っているが、人口密度が高いため国内消費量が生産量を上回り、穀物自給率は100%に達していない。
 - 乳製品や肉類の生産に特化しているため、家畜の飼料となる穀物の多くを輸入に頼っており、自給率は100%を下回っている。
- 問9 ロシアの領土において、ヨーロッパとアジアを分ける境界となっている山脈と、その東側のシベリア地方から極東にかけて広がる広大な針葉樹林の名称の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- アルプス山脈 ―― タイガ
 - アルプス山脈 ―― ツンドラ
 - ウラル山脈 ―― タイガ
 - ウラル山脈 ―― ツンドラ
- 問10 ヨーロッパ連合(EU)では、加盟国間の経済的な結びつきを強めるために、人や物などの移動についてどのような仕組みが整えられていますか。その特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- 加盟国間の貿易において関税を引き上げ、自国の産業を優先的に保護する仕組み
 - 国境ごとにパスポートの提示を求め、他国からの労働者の流入を厳しく制限する仕組み
 - 国境をこえて、人、物、資本、サービスを自由に移動させることができる仕組み
 - 域内の国境をすべて物理的に廃止し、一つの大きな国家として政治統合する仕組み
- 問11 バルト海沿岸にあるEU加盟国の中には、フィンランドやエストニアのように共通通貨を導入している国もあれば、スウェーデンやポーランドのように独自の通貨を維持している国もあります。次の国々のうち、すべてが共通通貨「ユーロ」を導入している組み合わせを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- フィンランド・エストニア・ラトビア
 - フィンランド・スウェーデン・デンマーク
 - エストニア・ラトビア・ポーランド
 - スウェーデン・デンマーク・ポーランド